

令和2年度 第36回

佐世保市中心市街地

# 通行量 調査結果



## 休日、平日共に減少率過去最大

### コロナウイルスの影響強く、 前年比約3割減

本年の通行量調査の結果、調査地点6ヶ所の総合計で休日〔8月16日(日)〕は36,585人となり、前年より15,205人(29.4%)減少となった。また平日〔8月17日(月)〕の合計通行量は33,824人で前年より12,855人(27.5%)減少していた。休日、平日どちらの減少率もこれまでの全36回でもっとも大きい。

調査日は雲が少なく強い日差しが照り付け、2日間の最高気温はそれぞれ34.3℃、35.6℃(8月平均最高気温32.8℃)。  
 昨年の平日調査日には(2019.8.19)三浦岸壁にクルーズ船「コスタ・ベネチア」(船客数約5,260人)が来航していたが、今年は1月25日以降乗客を乗せたクルーズ船の寄港がない。(令和2年8月時点)

### 通行量調査当日の状況

	16日(日)	17日(月)
天候	晴れ	晴れ
休業店四ヶ町	8店舗(1店舗)	3店舗(1店舗)
休業店三ヶ町	18店舗(11店舗)	4店舗(11店舗)
イベント	くっけん広場周辺でSASEBOまちなかマルシェ開催	

※( )内はR1年



## 通行量調査の概要

### ◆調査の目的

商店街の通行量を時系列的に測定し、街区毎の変化を把握することによって、今後の商店街活性化策の一助に供する。また、今年度も佐世保駅周辺の通行量調査を行い、今後の開発事業における効果測定の指標とする。

### ◆調査の時期

毎年、お盆明けの直近の日曜(休日)、月曜(平日)の2日間  
 本年は、8月16日(日)・17日(月)  
 調査時間は両日とも午前10時～午後5時まで

### ◆調査地点

四ヶ町(4ヶ所)、三ヶ町(2ヶ所)、佐世保駅周辺(3ヶ所)

### ◆事業実施主体

佐世保商工会議所

### ◆事業協力

させほ四ヶ町商店街(協)、  
 佐世保三ヶ町商店街(振)

### ◆調査協力

長崎県立佐世保商業高等学校、  
 長崎県立大学

### 1. 中心商店街 アーケード内の傾向

#### (1) 休日[8月16日(日)]の傾向

16日(日)の通行量合計は昨年より15,205人(29.4%)の減少。増加した地点はなく全ての地点で減少していた。最も減少率が大きかったのはC1地点(旧親和銀行本店前、市役所↓佐世保駅方向)34.3%、次にD1地点(川下レコード店前、佐世保駅↓市役所方向)32.8%。最も減少率が小さかったE1地点(くっけん広場前、佐世保駅↓市役所方向)でも減少率19.3%を記録するなど全体的な減少となった。

方向的には市役所↓佐世保駅方向が6地点合計で昨年より7,858人(29.7%)減少。佐世保駅↓市役所方向も合計で昨年より7,347人(29.0%)減少した。

#### (2) 平日[8月17日(月)]の傾向

17日(月)の合計も昨年より12,855人(27.5%)減少。A1地点(長崎銀行前、市役所↓佐世保駅方向)以外の全地点で減少となっている。双方向合算で見るとC地点(親和銀行本店前)とD地点(川下レコード店前)の減少率(C地点29.6%、D地点29.6%)が休日と同様高い。

方向的には市役所↓佐世保駅方向が6地点合計で昨年より6,304人(26.1%)減少。佐世保駅↓市役所方向も合計で昨年より6,551人(29.1%)減少した。

#### (3) 調査地点別傾向

#### 通行量合計

地点	休日(人)	順位	平日(人)	順位
A 長崎銀行前	1,113	⑥	1,994	⑥
B テレビ佐世保前	4,283	⑤	4,601	④
C 旧親和銀行本店前	10,054	①	8,823	①
D 川下レコード店前	9,579	②	8,418	②
E くっけん広場前	6,446	③	5,943	③
F 四ヶ町入口	5,110	④	4,045	⑤

通行量の比重はアーケードの中心部から四ヶ町方向にかけて通行量が多く、平日はその比重が三ヶ町方面へ若干シフトする。通行量の比重が例年と変わらず、商店街で全体的に減少していることから、やはりコロナウイルス感染拡大の影響が大きいとみられ、また最高気温35.6度(17日)を記録した暑さも影響した可能性がある。



#### (4) 対前年減少率比較

対前年の減少率は休日、平日共に過去2番目に大きく、減少率は最大。「密」を避ける新型コロナウイルス感染拡大の影響はダイレクトに通行量に影響しているとみられる。これまで通行量の減少が起こった年度では「天候不良」「景気後退」「前年度通行量が急増した反動」といった特徴が見られたが今回のようなケースは初めてである。終息の見通しも立たない以上、商店街にはこの新たな環境要因と付き合っていくことが求められる。

#### 休日・平日合算減少率ワースト

順位	調査回	減少率	天候(休日・平日)	主な出来事
1	第36回:令和2年	▲28.5%	晴れ・晴れ	新型コロナウイルス感染拡大
2	第32回:平成28年	▲16.9%	晴れ・晴れ	H28.4熊本大震災
3	第15回:平成11年	▲16.0%	雨・雷伴う雨	H11.6失業率4.9%、失業者300万人以上



### 2. JR佐世保駅 周辺の傾向

#### 佐世保駅周辺の対前年減少数・率

地点	休日(人)	率(%)	平日(人)	率(%)
G 佐世保駅 みなと口	1,762	46.6	1,214	45.4
H アルカス 佐世保横	614	36.8	330	26.5
I アルファビル 横	873	26.0	950	36.9

#### (1) 休日[8月16日(日)]の傾向

全体的に減少しているが、佐世保駅みなと口にあるG地点の減少がとりわけ大きい。コロナ禍において、広域的な人の動きが抑制されていることが窺える。

#### (2) 平日[8月17日(月)]の傾向

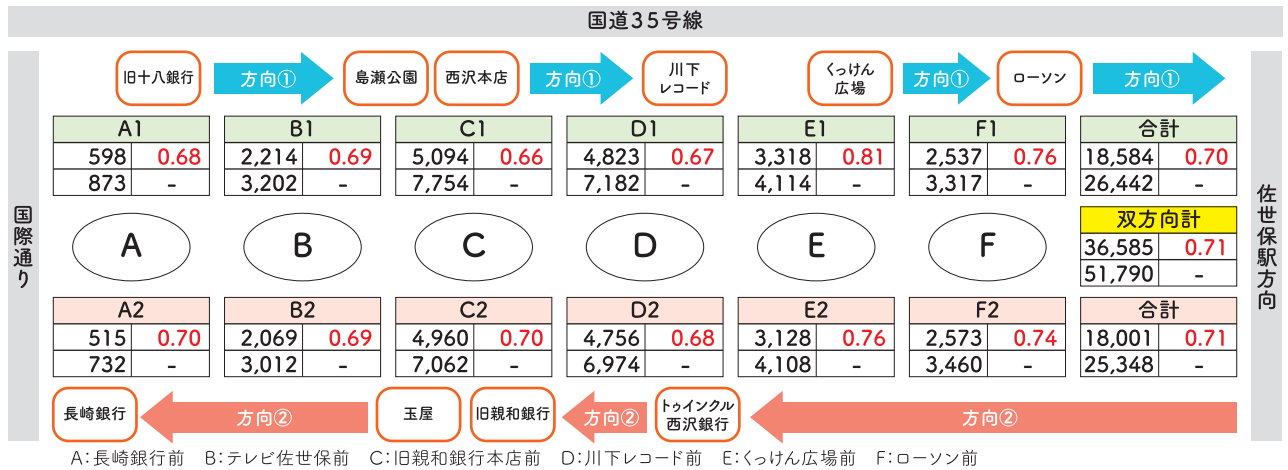
休日と同様G地点の減少が顕著であるが、平日の場合五番街と四ヶ町の間にあるI地点での減少率も大きい。五番街を休日に利用する層よりも平日に利用する層の方がコロナウイルスの影響を受けているものと思われる。



■中心商店街アーケード内における通行量の動向

※上段：今回(R2.8月)調査数値、下段：前回(R1.8月)調査数値

休日：R2.8.16(日) 10:00~17:00(7時間)



平日：R2.8.17(月) 10:00~17:00(7時間)



3. 商店街を取りまく環境

(1) お盆人大幅減  
航空各社国内線は、全日空が前年同期比69%減、日本航空が66%減。国際線は全日空が96%減、日本航空が97%減。JR九州は、お盆期間中の特急、在来線特急の利用者数は前年同期比71.9%減少している。

(2) 景気動向  
内閣府が9月8日に発表した2020年の国内総生産(GDP)4~6月期2次速報値は前期比7.9%減、年率換算28.1%減となり、リーマンショック後の09年1~3月期(年率換算17.8%減)を超え、戦後最悪のマイナス成長となった。コロナウイルス感染拡大による個人消費の減少に加え、4~5月に出された緊急事態宣言や輸出入の激減といった諸要因が成長率を強く押し下げた。当所が7月に行った佐世保地域の経営動向調査でもサービス業を中心に、広い業種からコロナウイルスの影響を指摘する声が聞かれ、売上動向は過去2番目に低い数値を記録した。

調査時には以下のような声が寄せられた。

【マイナス要因】  
・新型コロナウイルス感染症自粛による来店数減少(婦人衣料品販売)  
・コロナウイルスのため、お客様減少の為(音楽ソフト等販売)  
・新型コロナウイルスによる国内旅行、インバウンド客の激減(宿泊、温泉施設)



【プラス要因】  
・コロナ禍により自宅での消費が増加した。(野菜、果物、花卉、加工品売)

(3) これからのまちなか  
GDPや市内経営動向は緊急事態宣言があった4月~6月のものであり、内閣府が発表している7月の景気動向指数には改善の動きが見られた。ただ、今回の通行量調査の結果は街に人が戻り切っていない実情を示している。終息の見通しも立たない現状においてはコロナウイルスのある現状を受け入れ、それに対応していく「withコロナ」の取り組みが期待される。



### (4) コロナ禍での取組み

コロナ禍により全国の商店街が打撃を受けつつも、各地域で地方創生に向けた活動が行われている。佐世保市でも二般社団法人させぼらぽ」による公共空間の新たな活用に関する社会実験が行われましたので紹介いたします。

#### 「一般社団法人させぼらぽによる社会実験 「夜直し公園プロジェクト」

開催日：【清掃活動】

令和2年7月4日(土)

【sasebo夜直し

パーティーin夜店公園通り

令和2年7月17日(金)

24日(祝)

主催：二般社団法人させぼらぽ



本イベントは四ヶ町商店街に隣接し、夜の飲食店が立ち並ぶ夜店公園通りの利活用に関するプロジェクト。準備段階として民間で公園の清掃を行い、快適な空間づくりをしたのち、公園と店舗の間にある市道を通行止め(歩行者専用道路)にし、そこに簡易屋台やキッチンカーを並べ飲食物を提供する【sasebo夜直しパーティーin夜店公園通り】を開催した。

来場者は公園に置かれたテーブルを使い、開放的な雰囲気の中で飲食を楽しんだ。入口では検温を行い、三密を避け、会場整理に気を配った。同イベントはコロナ禍で客足が激減した地域の飲食店を支援する目的もあった。



が、させぼらぽ岡田代表は「まちが元気を取り戻すために、三密を避けつつくつろぎ楽しむ、新しい街の生活様式を作っていきたい」と思い、今回、公共空間の新たな活用により、まちの変化をどのように起こしていけるのかをテーマとする社会実験を実施した。」とその意義を説明している。

実証結果では2日間の開催で2次のな効果を含め、約160万円の経済効果が生まれた。コロナ禍においても感染予防に気を配り、快適な空間づくりを行うことで、まちに人を呼び込める。同イベントは今後のwithコロナ時代における取組として示唆に富む。

当日はテーブル上のQRコードを用いて来場者にニーズ把握の為、アンケートを実施。結果は社会実験報告書に纏められ関係機関に提出された。

#### 次回開催予定

10月30日(金)

11月6日(金)、13日(金)



#### 行った感染予防対策

- ・来場者に会場入場時に非接触型体温計による検温を行う。合格した来場者にはその証のシールを貼ってもらう
- ・公園に設置したテーブル上にアルコール消毒液とウェットティッシュを置き、飲食前後のコロナウイルス感染症対策を実施
- ・イベント中に検温の協力やソーシャルディスタンスなどに関するアナウンスを実施

